

## 第7回GEAHSS公開シンポジウム

# 「なぜ日本のジェンダー指数は低いのか」

## + 「若手」・女性のためのテーマ別ディスカッション

人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会 (Gender Equality Association for Humanities and Social Sciences: GEAHSS:ギース) は、加盟学協会との情報共有や議論を通じ、人文社会科学分野での若手・女性研究者支援、研究分野を超えた連携のもと人文社会科学系の学術の発展を目指しています。

今年度のイベントは二部構成で開催します。第一部のシンポジウムは、ひとつの指標とされるジェンダー・ギャップ指数 (GII: 世界経済フォーラム) が、2023年に日本は125位 (146カ国中) であったことを念頭に、「なぜ日本のジェンダー指数は低いのか」を考えます。まず経済、法律、教育、政治の各分野からその見解をお話いただき、学際的視点を共有します。そのうえで文化人類学から世界の諸社会との比較の視点でコメントを発したのち、日本社会において学協会や大学レベルで取り組むべき事項のヒントを絞りこむ議論の展開をめざします。

第二部のテーマ別ディスカッションでは、**アカデミズムにおける「若手」や女性などが直面している日常にある諸問題を共有し、それらの解決にむけた方策に関するディスカッション**を行う時間を設けます。学協会をこえた横のつながりをつくることで、研究上の悩み、研究とプライベートの両立など、あらゆる問題を上にあげていくボトムアップの流れをつくりギースという連絡会を活用することをめざします。

**日時: 2024年2月18日(日) 13:00~16:30 場所: ZOOM**

申込URL (2月10日迄) <https://forms.gle/B9b31QkVUtkpVs8Y9> QRコードはこちら!!

総合司会: 松永美希 (GEAHSS 副委員長・日本認知・行動療法学会)  
開会挨拶: 窪田幸子 (GEAHSS 副委員長・日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会)  
幹事学協会挨拶: 真島一郎 (一般社団法人 日本文化人類学会会長)



### 第一部 シンポジウム **なぜ日本のジェンダー指数は低いのか** — 経済, 法律, 教育, 政治の各分野から考える —

13:05~15:30 司会: 中谷文美 (日本文化人類学会・岡山大学)

登壇者 (発表25分、質疑応答5分)

経済学: 和田一哉 (日本経済学会: 金沢大学)

法学: 三成美保 (ジェンダー法学会: 追手門学院大学)

政治学: 三浦まり (日本政治学会: 上智大学)

教育学: 小玉亮子 (日本教育学会・日本教育社会学: お茶の水女子大学)

#### ディスカッション

文化人類学: コメント 加藤恵津子 (国際基督教大学)

### 第二部 テーマ別 ディスカッション 当事者でなくとも、ご関心のあるROOMへ!

15:40~16:20 司会: 椎野若菜

Room1 (司会: 嶺崎寛子/成蹊大学) 「若手」をはじめとする研究補助業務職にまつわる問題

Room2 (司会: 岩佐光広/高知大学) 「社会人」院生/研究者にまつわる問題

Room3 (司会: 椎野若菜/東京外国語大学) 学生やPDの研究と子育ての両立にまつわる問題

(ほかのRoomが立ち上がる可能性もあります)

まとめ「若手」が望むギースの使い方 (若手WG創設にむけて)

16:30

閉会挨拶: 椎野若菜 (GEAHSS 委員長・日本文化人類学会)



連絡先: [geahssympo@gmail.com](mailto:geahssympo@gmail.com)

主催: 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会 GEAHSS)  
企画: 日本文化人類学会 (第7期幹事学協会) 椎野若菜・嶺崎寛子・岩佐光広  
協力: 東京外国語大学男女共同参画部会、特定非営利活動法人 FENICS  
後援 (申請中): 内閣府男女共同参画局

